

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学看護学部

私は3月4日から3月25日までの3週間、岩手県立大学春季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。

<授業>

初日にクラス分けテストを行い、自分のレベルに合ったクラスに配属されました。クラスは全員日本人でみんな歳が近く、すぐに打ち解けることができました。

授業は午前で終わる日もあれば、週に2回ほど午後まである日もありました。文法を習ったり、実際に韓国語で会話をしてみたりという内容の授業でした。課題を出される日もあり、放課後は課題に取り組みました。

<寄宿舍>

部屋はとてもきれいで広いです。特に困ったことや不便に思うことはありませんでした。駅がすぐ近くにあったり、コンビニが1階にあったりと、とても便利でした。近くにダイソーやオーリーブヤングなどもあり、必要なものはそこで買うことができました。

洗濯はウールモードでやらないと2時間くらいかかり、服もいたんでしまうので注意が必要でした。部屋の点検が2回ありましたが、注意事項の説明を受けたり、お酒がないか部屋を軽くチェックされたりする程度でした。

<現地学習>

1回目の現地学習では国立中央博物館へ行った後にペインターズの公演を鑑賞しました。2回目の現地学習ではロッテワールドに行きました。自由時間が多く、仲が良い友達と行動することができました。韓国のさまざまな文化に触れ、貴重な体験をすることができました。

<自由時間>

学校が午前で終わった日や、休日は、主に地下鉄を使い、観光を楽しむことができました。地下鉄を利用する際は、気候同行カードを利用しました。地下鉄はとても安いの、気候同行カードを使うと、チャージした日数分地下鉄が使い放題なので便利でした。また、韓国に着いた初日に、wowpassカードを購入し、チャージして買い物の際に使っていました。

観光は主に明洞や聖水、弘大、漢江などに行きました。毎日が新鮮で、行きたいことややりたいことを叶えることができるととても楽しかったです。

<食生活>

私は韓国料理が好きなので、毎日韓国料理を食べることができて幸せでした。漢江ではラーメンを食べたり、みんなでチキンをデリバリーして寮の部屋で食べたりと、とても楽しかったです。辛い物はあまり得意ではないのですが、大体の料理は食べることができました。授業が午後まである日にはみんなで食堂へ行って食べました。食堂のご飯は量がしっかりあって安くておいしかったです。

<まとめ>

私は、3週間韓国に滞在し、大学に通って語学を学ぶことができるこの留学プログラムに魅力を感じ、参加を決めました。大好きな韓国の文化を体験したり、毎日韓国語の勉強をする日々を送ったりと、貴重な経験をすることができました。韓国には日本人の方も多くいたし、韓国語が分からなくても日本語表記や英語表記があり、不便なく生活することができました。韓国に行く前にもっと多くの韓国語を勉強して知っておけばよかったと感じたので、帰国しても韓国語の勉強は継続して行いたいと思いました。

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学看護学部看護学科

・はじめに

今回の研修では3月4日から3月26日までの約3週間、韓国の首都ソウル市にあるキョンヒ大学へ韓国語を学びに行きました。体験記ではこの期間で得たことや授業の様子、現地の状況についてまとめていきます。

・授業

初日は入校式、オリエンテーション、クラス分けテスト、最終日は修了式が行われました。クラス分けテストでは先生と一対一で韓国語で面接を行い、約5分の面接時間で私の場合は自己紹介を行なった後、なぜ今回の研修に参加をしたのか、韓国語はどのように勉強をしたのか、何に興味があるのかなどの質問を受けました。

この研修では大きく初級・中級・高級の3つのクラスに分かれそのレベルの中でさらに10~15人の少人数クラスが編成されます。私が今回参加したクラスでは全員が日本人で構成されていました。授業は9時から13時まで、1コマ50分の授業×4コマあります。そのほかに2日1回14時から16時までの文化授業が4回、現地学習が2回あります。午前中の授業では各レベルに応じたテキストを使用して文法やリスニング、スピーキングを行い、授業はすべて韓国語で行われます。文化授業では韓国ドラマを見たり、伝統遊びをしたりして韓国の文化を実際に見て、体験しながら学びます。体を動かして授業をするためクラスメイトとも交流をすることができ楽しかったです。

・現地学習

1回目は国立中央博物館で文化財の観覧とペインターズの公演観覧に行きました。博物館は韓国の現代に至るまでの様々な文化遺産を所有しており、中には高校時代日本史の教科書に掲載されていた物も展示されていて興味深かったです。韓国のみならず日本を含めたアジア諸国や古代ローマ時代のヨーロッパの文化品の展示もありました。ペインターズの公演では韓国語が一切出ず、ジェスチャーと絵で観客を楽しませることがコンセプトのため韓国語が理解できなくても視覚のみで十分楽しむことができる公演でした。

2回目は韓国の代表的な遊園地であるロッテワールドに行きました。この日の天候は暖かく快晴であり、屋内外のアトラクションを十分に楽しむことができました。穏やかな乗り物から絶叫系のアトラクションまで様々な種類があり、パレードや公演も開催されているため小さい子から大人まで誰でも楽しむことができる場所だと感じました。

・自由時間

学校が終わると友人とショッピングやご飯を食べに行くことが多かったです。寄宿舍は

駅のすぐ近くにあり、地下鉄に乗ればソウル市内の観光地に簡単にアクセスできるため研修期間内は日本人に人気の観光地から現地の人々に人気のところまで様々ところ巡りました。先生もおすすめの場所や食事処を提案してくださりその場所に行くこともありました。この期間で個人的に最も印象に残ったのはスウォンに行ったことです。ソウル市の南に位置する都市で、電車で1時間半で行くことができます。ここでは世界遺産でドラマのロケ地にもなった水原華城やおしゃれな図書館が人気なスターフィールドに行きました。ソウルと比較して人通りも少なく、自然も多いためリフレッシュすることができました。

・現地の様子

韓国は確かに日本語を理解することができる人は他国と比較すると多く、特に明洞や東大門などの観光地では日本語対応な可能な店も多くあります。しかし、大学周辺は観光地ではないためほとんど日本語が通じません。そのため韓国語は読むことと挨拶などの基本的な会話ができる能力は身につけておいた方が良く感じました。店員さんも基本的に現地の人と同じように私たちに対応するため観光地に比べて必然的に韓国語で話す機会が増え、とても良い機会でした。またこの研修期間は韓国大統領の裁判期間中であったためSNSなどで話題になっていたように各地でデモが頻発していました。大学周辺では起きていませんでしたが、人気観光地である景福宮や安国周辺では連日デモがあり、特に激化する週末は一部駅の出入り口が封鎖され、警察車両が歩道と車道の間で壁を作り、一部道路も封鎖されていました。警察が通路を作りデモ参加者と通行人を区別して誘導してくれるため危害が及ぶことはありませんが、実際にデモを目の当たりにして日本では見ることがない光景のため韓国の政治への関心の高さを感じました。

・まとめ

今回は3週間という短い期間でしたが、日本では経験できない雰囲気を味わうことができ、現地の人とも交流することができたためとても有意義な時間を過ごすことができました。短い期間とはいえ旅行では行くことができない期間であったため、この期間いるからこそ少し遠出したり、ソウル市内の様々な場所を何度もゆとりを持って散策したりことができました。今回の研修を通して実際に現地で過ごさないとわからない韓国特有の文化や、韓国で過ごしたからこそ逆に日本の魅力に気づくことができ参加した価値を大きく感じることができました。



短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学盛岡短期大学部

〈はじめに〉

私は3月4日から3月26日までの3週間、2025年度岩手県立大学春季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。ソウルにあるキョンヒ大学で韓国語や韓国の文化について学びました。参加した理由は、海外での生活をしてみたかったのと、韓国語を学びたかったからです。

〈授業〉

キョンヒ大学の短期過程の開校日に、入学式・オリエンテーション・クラス分けテストが行われました。クラス分けテストは、先生と一対一での質問形式のテストで、一人10分程度でした。自分に合ったレベルのクラスで学習することができました。韓国語授業の内容は、「文法」と「話す・聞く」の二種類の教材を使って勉強しました。基本的に話すことを重視した授業でした。日本語を話せない先生だったため、授業はすべて韓国語で行われました。そのため、スピーキング力とリスニング力が上がりました。文化授業ではk-pop・韓国ドラマ・カリグラフィー・韓国の伝統的な遊びを学びました。様々な面から韓国の文化について学ぶことができたので、とても楽しかったです。

〈現地学習〉

現地学習は二回ありました。一回目は国立博物館に行きペインターズの公演を観ました。国立博物館では、韓国の歴史・文化について深く知ることができました。日本の歴史と比べてみると、とても興味深いことがたくさんあり面白かったです。ペインターズの公演はとても楽しかったです。踊りながら絵を完成させていくのでワクワクしながら楽しむことができました。二回目の現地学習は、ロッテワールドに行きました。室内と屋外のアトラクションがあって、一日中飽きることなく楽しむことができました。アトラクションの数や飲食店がとてもたくさんありました。

〈トウミ制度〉

トウミとは、韓国滞在中にキョンヒ大学の学生と実際に会って交流する制度です。留学生一人に韓国人学生一人がつきますが、留学生二人に韓国人学生一人がつく場合もあります。トウミと韓国語の勉強を一緒にしたり、韓国についてなど色々な話をしたり、有名なご飯屋さんに行って一緒にご飯を食べたりしました。また、休日には韓国で有名な漢江という場所でピクニックをしました。トウミと会話をするときは基本韓国語での会話だったので、語学力

がとても上がったと感じています。学校の授業でも韓国語で話しますが、実際に生活の中で韓国語を使う機会があまりないので、とても貴重な経験でした。トウミとは最低でも三回は必ず会うのですが、回数に限らず会えるならばたくさん会うべきだと思います。必ず三回は、初対面の人とご飯に行ったりカフェでお話をしたりするので、初めての人と遊ぶことが苦手な人にはお勧めしません。興味のある人は絶対に申し込むことをお勧めします。

〈宿舎〉

宿舎の中は、床暖房がついていてお部屋の暖房をつけなくてもとても暖かかったです。宿舎には、IHコンロ・トイレ・シャワー(浴槽なし)・洗面台・ドラム式洗濯機・電子レンジ・冷蔵庫、これら以外は何もありません。トイレトーパーとティッシュペーパーは日本から余分に持っていきましたが、足りなくなったのであるだけ持って行ったほうがいいと思いました。韓国の洗濯機はとても威力が強いです。ふつうモードで洗濯をしてしまうと服が傷んでしまったり、色移りしたりしてしまうので、「ウールモード」に設定し、洗濯ネットに入れて洗濯をしました。ゴミ袋はゴミごとに決められた袋があるので、宿舎のすぐ近くのコンビニで買いました。

〈食事〉

韓国の食べ物は辛い物が多かったです。宿舎の近くにはご飯屋さんやカフェがたくさんありました。値段は日本とはあまり変わらず、安めのお店が多かったです。

学校がある日のお昼は、学食でご飯を食べました。学食のメニューは日替わりで、日本円で約500円~700円でした。メインのご飯よりもサイドメニューが多く、とてもおいしかったです。

ほとんどのお店は、キムチやたくわんはセルフで好きなだけ食べることができました。日本のお店や食べ物を韓国と比較してみると、いろいろな発見ができてとても面白かったです。

〈交通〉

移動のほとんどは地下鉄を使っていました。韓国の地下鉄はとても安く、30分ほど乗っても約140円ほどです。また、本数もとても多く電車の時間を見なくてもすぐ来るのすごく便利でした。地下鉄はコネストという地下鉄のアプリがとても使いやすかったです。

〈韓国に行って感じたこと〉

韓国に行って一番驚いたことは、ソウル市内のお店のほとんどの定員さんが日本語で接客してくれたことです。韓国語が話せなくても、日本語で対応してくれたのでお店で困ることはほとんどありませんでした。

生活スタイルや文化など日本と韓国のたくさんの違いが見えました。韓国の大学生や社会人のほとんどの人が、朝に「アイスアメリカー」を必ず買い登校、出勤していました。寒い

日でもホットコーヒーではなく、「アイスアメリカー」を買うそうです。日本ではこのような習慣がないのでとても不思議でした。

〈まとめ〉

三週間の研修は長いと思っていましたが、あっという間に終わってしまいました。そして、事前に韓国語をもっと勉強していけばよかったと後悔しています。ある程度の日常会話ができるだけで、韓国での生活がもっと充実すると思いました。

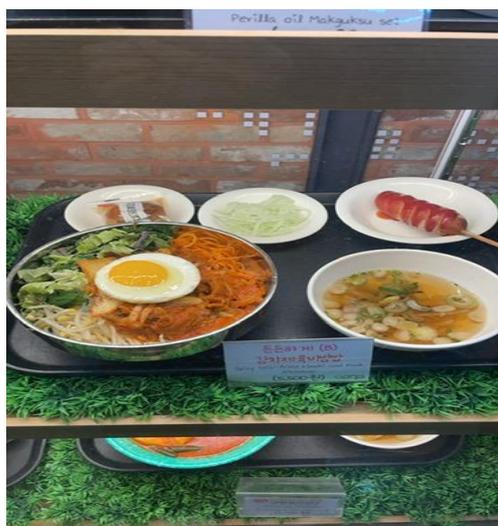
私はこの研修が初めての海外でした。初めて海外で生活することで、日本の良さや悪さを直接感じることができました。日本で生活しているだけでは得られない発見をすることができ、とても貴重な経験になりました。また、二人部屋ではありましたが、生活やお金の管理など全部自分でやらなければいけないため、自立性がとても身についたと感じています。そして、この三週間でもとても成長することができました。



キョンヒ大学



キョンヒ大学



学食



ロッテワールド

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース体験記 <春季>

岩手県立大学盛岡短期大学部

はじめに

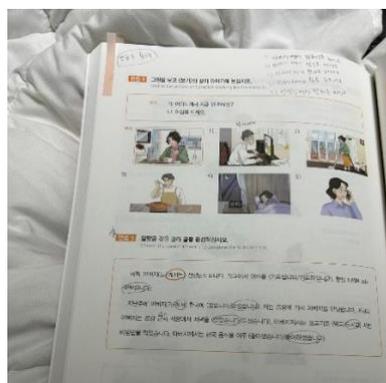
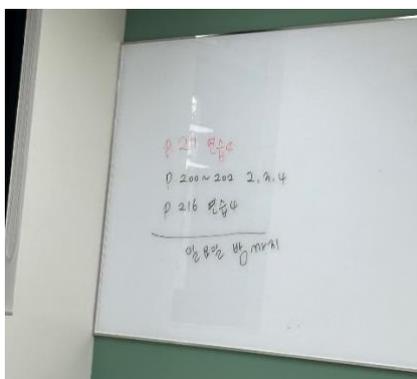
私は、3月4日から3月26日までの3週間、韓国研修に参加しました。研修先は、韓国のソウルにあるキョンヒ大学です。

授業

3月5日に初回の授業が行われました。そこでクラス分けのテストをし、そのレベルによってクラスが分かれました。テストは日常会話のような形で行われ、内容は、自己紹介をしたり天気を聞かれたりなど、人によってさまざまでした。

通常授業は、1コマ50分×4コマでした。また、週に2日、通常授業の後にお昼を挟んで文化授業がありました。文化授業は、カリグラフィー、韓国ドラマ、韓国の音楽、韓国の伝統的な遊びの4つを、体験なども含めて行われました。

また、私のクラスでは宿題が出たら、宿題を写真で撮って先生に送っていました。私は宿題があることをすっかり忘れて、提出するのが遅くなってしまったことがあったので、休憩時間をうまく使って終わらせたり、帰ったらすぐ宿題をするなどして、遅れないように気をつけてください。



生活

宿舎は、学校まで徒歩15-20分くらいのところにあり、2人部屋でした。最寄りの回基駅が部屋から見えるくらい近くにあり、窓を開けると電車の音が響くので、苦手な人はあまり開けない方がいいかもしれません。また、宿舎全体で暖房の管理をしているからか、部屋がとても暑くて夜眠りにつきにくいことがありました。3月とはいえ、20℃を超える日も多かったため、半袖があるといいかもしれません。また、PM2.5の影響もあるため、影響を受けやすい人は、あまり窓を開けないほうがいいと思います。

宿舎には生活用品が一切ありません。ハンガーは、ある部屋とない部屋があるため、折りたためるハンガーなどを持参した方がいいと思います。トイレトペーパーやティッシュなどの紙製品は日本から持っていくといいと思います。トイレトペーパーは、同じ部屋の友達と手分けして、10個くらい持って行っても足りないくらいでした。また、韓国はトイレトペーパーが流せないところが多く宿舎もそうだったようですが、それに気づかず3週間そのまま流してしまっていました。一応、問題ありませんでした。その他友達と手分けして日本から持って行った生活用品は、洗剤・柔軟剤・シャンプー・リンス・ボディソープ・ハンドソープ・ファブリーズ・食器用洗剤・コンタクト洗浄液・アイロンなどです。ドライヤーは、私たちは現地で購入しましたが、なかなか売っていませんでしたので、日本で海外対応のドライヤーを買って持っていった方がいいと思います。

また水や食料は、宿舎の一階にあるコンビニや宿舎近辺にあるスーパーで買っていました。学校にはウォーターサーバーがあったので、学校がある日は韓国のダイソーで買ったボトルに水を入れて飲んでいました。

韓国での支払い方法などは人それぞれかと思いますが、私はWOWPASSカードを使いました。クレジットカードでの支払いとは違って、デビットカードのような形なので、まず換金して、その後WOWPASSカードに入れる、という少し手間がかかってしまうのも事実ですが、T-moneyカードも一緒になっているため何かと便利だと思います。そのためT-moneyカードを別で買う必要はないですが、どちらも一緒にチャージすることはできず、別々の機械でチャージしなければならないので気をつけてください。

1日地下鉄を利用する（たくさん地下鉄に乗る）場合は、気候同行カードの利用をおすすめします。

レートはその日によって大幅に変わることがあるので、レートがいい日にある程度まとめてウォンに変えた方がいいと思いました。

韓国はクレジットカード決済が多いですが、ある程度現金があると何かと便利でした。

服について、これもまた人それぞれだと思いますが、私個人としてはそこまでたくさん持っていなくてもいいかと思いました。特に春季研修は、多すぎると荷物になり、かさばります。現地でたくさん服を買う予定の方は少なめでいいと思います。洗濯の頻度は、時間と疲れの関係で、多くても3日に1回でした。そのため、下着類は5日分くらい持っていくといいと思います。洗濯ネットもあると便利です。

食事

今回の研修に参加した理由の一つが食べ物です。学食は定食のような感じで、ほとんどが5500ウォンでした。割と量が多くて満腹感があり、ハマってたくさん食堂に行きました。

宿舎から学校までの通りにお店がたくさんあるので、学校終わりに行ってみてください。私は、김가네という宿舎の近くにあるお店と、韓国料理ではないのですが、麻辣湯のお店にハマってどちらも4回くらい行きました。とてもおいしいのでおすすめです。

韓国はとてもかわいくておしゃれなカフェがたくさんあったので、是非行ってみてください。カフェ巡りが好きな方は本当に楽しめると思います。コーヒーショップもとても多いので、学校に行く前にコーヒーショップに寄ったりするのも楽しかったです。スムージーなどもあるのでたくさん通ってみてください。

学校の文化体験で料理教室に行ったのですが、とてもおいしい韓国料理が作れるようになるのでおすすめです。

また、韓国のお店はトイレに入るためにパスワードが必要なお店があったりするので、確認しておくといいと思います。



↑学食メニュー



↑学食



↑김가네



↑麻辣湯



↑新沙のご飯屋さん



↑カフェ



↑カフェ



↑カフェ



↑料理体験

トウミ

ネイティブスピーカーと直接話すことができる貴重な機会でした。私に場合は、トウミ1人に対して日本人2人でした。ご飯を食べたり、雑貨屋さんに行ったりする中で、リアルな韓国人の会話を聞くことができ、日常会話の韓国語を身につけることができましたと思います。



さいごに

キョンヒ大学付近は緑がなかったため、自然を感じたくなってきたときは自然のある地域に遊びに行ったりしました。楽しい反面、慣れない生活で疲労が溜まったりもすると思うので、リフレッシュすることが大切だと思います。学校帰りや休みの日にいろいろなところに行って、韓国を満喫してください。

持ち物にパソコンと記載されていましたが、持っていかなくて大丈夫でした。

また、私はカカオトークになかなかログインできず、研修中はLINEとDMで連絡を取っていました。カカオトークは、日本でログインを済ませておくといいと思います。

研修期間がデモの真っ最中だったため、料理体験に行った際にデモで人が溢れかえっている中を通らなければならなくて怖かったです。自分で情報を集めたり、先生が危ない場所を教えてくれることもあるので、デモをしている場所にはなるべく近づかないようにしましょう。

3週間はあっという間でした。現地で実際にネイティブスピーカーと話すことができ、とても勉強になったし良い経験になりました。また行く機会があれば、より会話ができるようにこれからも韓国語の勉強を頑張ります。